



2027年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年7月15日

上場会社名 オープングループ株式会社 上場取引所 東
コード番号 6572 URL <https://open-group.co.jp/>
代表者 （役職名）代表取締役 （氏名）高橋 知道
問合せ先責任者 （役職名）取締役 （氏名）松井 哲史 TEL 03 (6778) 7588
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2027年2月期第1四半期の連結業績（2026年3月1日～2026年5月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2027年2月期第1四半期	2,328	18.8	402	86.7	443	134.0	278	102.3
2026年2月期第1四半期	1,960	9.9	215	30.8	189	327.1	137	574.9

（注）包括利益 2027年2月期第1四半期 279百万円（89.8％） 2026年2月期第1四半期 147百万円（656.1％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年2月期第1四半期	4.98	4.95
2026年2月期第1四半期	2.29	2.26

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2027年2月期第1四半期	19,384	10,656	54.9
2026年2月期	19,608	10,640	54.2

（参考）自己資本 2027年2月期第1四半期 10,645百万円 2026年2月期 10,627百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年2月期	—	0.00	—	4.90	4.90
2027年2月期	—	—	—	—	—
2027年2月期（予想）	—	0.00	—	6.50	6.50

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2027年2月期の連結業績予想（2026年3月1日～2027年2月28日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	9,800	20.3	1,100	9.5	1,080	13.8	650	1.7	11.67

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2027年2月期1Q	63,268,990株	2026年2月期	63,073,990株
② 期末自己株式数	2027年2月期1Q	7,352,060株	2026年2月期	7,352,060株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2027年2月期1Q	55,851,223株	2026年2月期1Q	59,939,248株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国の経済は、雇用・所得環境の改善を背景に緩やかな回復基調が続きましたが、世界的な金融引き締めの影響や地政学的リスクの高まりにより、国内景気や企業収益に与える影響については依然として先行き不透明な状況です。

こうした環境の中で、当社グループは「BizRobo!」、「AUTORO」、「RoboRobo」、「PRESCO（プレスコ）」ともに、既存顧客の継続・拡大、及び新規顧客の獲得に注力しました。また、引き続き「RoboRobo」の製品開発を中心とした先行投資を行いました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は2,328百万円（前年同四半期比18.8%増）、営業利益は402百万円（前年同四半期比86.7%増）、経常利益は443百万円（前年同四半期比134.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は278百万円（前年同四半期比102.3%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

なお、当第1四半期連結会計期間より、連結業績管理区分の見直しに伴い「インテリジェントオートメーション事業」に含めていた「ペイロールオートメーション事業」を「その他」の区分としてセグメント情報を開示しております。

また、報告セグメントの業績をより適切に反映させるために全社費用の配賦基準を見直し、事業セグメントの利益又は損失の算定方法の変更を行っております。

以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較分析しております。

インテリジェントオートメーション事業

インテリジェントオートメーション事業においては、「BizRobo!」、「AUTORO」、「RoboRobo」ともに導入企業が拡大し、ストック型のライセンス収入が伸長しました。ライセンス収入の伸長、コストコントロールの強化により利益率は向上しました。

その結果、インテリジェントオートメーション事業では、売上高は1,471百万円（前年同四半期比14.6%増）、セグメント利益（営業利益）は310百万円（前年同四半期比62.3%増）となりました。

アドオートメーション事業

アドオートメーション事業においては、人材カテゴリ、金融カテゴリが堅調に推移し、増収増益となりました。取扱シェアを高めたプログラムでは手数料率が改善し、利益率が向上しました。

その結果、アドオートメーション事業では、売上高は457百万円（前年同四半期比24.8%増）、セグメント利益（営業利益）は271百万円（前年同四半期比33.2%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は14,369百万円となり、前連結会計年度末に比べ320百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金が454百万円増加した一方で、売掛金が152百万円減少、流動資産のその他が594百万円減少したことによるものであります。固定資産は5,015百万円となり、前連結会計年度末に比べ97百万円増加いたしました。これは主に投資有価証券が90百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は19,384百万円となり、前連結会計年度末に比べ223百万円減少いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は6,746百万円となり、前連結会計年度末に比べ24百万円増加いたしました。これは主に未払法人税等が70百万円減少、賞与引当金が149百万円減少、流動負債のその他が228百万円減少した一方で、契約負債が554百万円増加したことによるものであります。固定負債は1,981百万円となり、前連結会計年度末に比べ264百万円減少いたしました。これは主に社債が135百万円減少、長期借入金が90百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は8,728百万円となり、前連結会計年度末に比べ239百万円減少いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は10,656百万円となり、前連結会計年度末に比べ16百万円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益を278百万円計上したこと及び剰余金の配当273百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は54.9%（前連結会計年度末は54.2%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2026年4月14日の決算短信で公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,312,431	10,766,645
売掛金	2,858,885	2,706,788
仕掛品	43,538	14,754
その他	1,477,403	883,125
貸倒引当金	△2,252	△2,252
流動資産合計	14,690,006	14,369,061
固定資産		
有形固定資産	177,824	176,438
無形固定資産		
のれん	1,402,065	1,368,341
ソフトウェア	457,647	442,394
ソフトウェア仮勘定	118,456	157,836
その他	72	72
無形固定資産合計	1,978,242	1,968,645
投資その他の資産		
投資有価証券	1,611,744	1,702,286
その他	1,150,589	1,168,508
投資その他の資産合計	2,762,333	2,870,794
固定資産合計	4,918,401	5,015,878
資産合計	19,608,407	19,384,940
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,895,013	1,867,425
短期借入金	1,500,000	1,500,000
1年内償還予定の社債	350,000	310,000
1年内返済予定の長期借入金	351,900	355,742
未払法人税等	258,993	188,811
契約負債	1,137,910	1,692,342
賞与引当金	246,739	97,124
信託型ストックオプション関連損失引当金	17,824	—
その他	963,783	735,242
流動負債合計	6,722,164	6,746,689
固定負債		
社債	840,000	705,000
長期借入金	1,367,201	1,276,965
役員退職慰労引当金	38,880	—
固定負債合計	2,246,081	1,981,965
負債合計	8,968,245	8,728,655
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,941,910	5,947,760
資本剰余金	6,072,051	6,077,901
利益剰余金	954,462	959,570
自己株式	△2,371,441	△2,371,441
株主資本合計	10,596,981	10,613,790
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	30,862	32,066
その他の包括利益累計額合計	30,862	32,066
新株予約権	9,265	7,055
非支配株主持分	3,052	3,373
純資産合計	10,640,162	10,656,284
負債純資産合計	19,608,407	19,384,940

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年3月1日 至 2026年5月31日)
売上高	1,960,829	2,328,693
売上原価	624,746	668,973
売上総利益	1,336,082	1,659,720
販売費及び一般管理費	1,120,554	1,257,354
営業利益	215,528	402,365
営業外収益		
受取手数料	—	15,242
為替差益	—	330
投資事業組合運用益	—	39,470
その他	407	741
営業外収益合計	407	55,785
営業外費用		
支払利息	5,059	13,394
支払手数料	6,611	317
為替差損	888	—
投資事業組合運用損	728	—
持分法による投資損失	11,415	—
その他	1,790	1,061
営業外費用合計	26,493	14,773
経常利益	189,442	443,377
税金等調整前四半期純利益	189,442	443,377
法人税等	47,236	164,911
四半期純利益	142,206	278,466
非支配株主に帰属する四半期純利益	4,713	320
親会社株主に帰属する四半期純利益	137,493	278,146

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年3月1日 至 2026年5月31日)
四半期純利益	142,206	278,466
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,173	1,204
その他の包括利益合計	5,173	1,204
四半期包括利益	147,380	279,670
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	142,667	279,350
非支配株主に係る四半期包括利益	4,713	320

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

当社の四半期連結財務諸表は、株式会社東京証券取引所の四半期財務諸表等の作成基準第4条第1項及び我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表に関する会計基準（ただし、四半期財務諸表等の作成基準第4条第2項に定める記載の省略が適用されている。）に準拠して作成しております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年3月1日 至 2026年5月31日)
減価償却費	74,979千円	67,021千円
のれんの償却額	28,026	44,130

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2025年3月1日 至 2025年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報
(単位: 千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	インテリ ジェント オー トメーシ ョン事 業	アドオー トメーシ ョン 事業	計			
売上高						
一時点で移転さ れる財又はサー ビス	273,014	366,799	639,814	276,195	—	916,010
一定の期間にわ たり移転される 財又はサービス	1,011,065	—	1,011,065	33,754	—	1,044,819
顧客との契約か ら生じる収益	1,284,079	366,799	1,650,879	309,950	—	1,960,829
外部顧客への売 上高	1,284,079	366,799	1,650,879	309,950	—	1,960,829
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	21,796	4,714	26,510	900	△27,410	—
計	1,305,875	371,514	1,677,390	310,850	△27,410	1,960,829
セグメント利益又 は損失(△)	191,562	203,536	395,098	△40,035	△139,534	215,528

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、セールスアウトソーシング事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△139,534千円は各セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない連結財務諸表提出会社の一般管理費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 顧客との契約から生じる収益以外の収益はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2026年3月1日 至 2026年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報
(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	インテリ ジェントオー トメーショ ン事業	アドオート メーション 事業	計			
売上高						
一時点で移転さ れる財又はサー ビス	291,782	457,641	749,423	317,523	—	1,066,946
一定の期間にわ たり移転される 財又はサービス	1,179,543	—	1,179,543	82,202	—	1,261,746
顧客との契約か ら生じる収益	1,471,326	457,641	1,928,967	399,725	—	2,328,693
外部顧客への売 上高	1,471,326	457,641	1,928,967	399,725	—	2,328,693
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	8,613	13,198	21,811	450	△22,261	—
計	1,479,939	470,839	1,950,779	400,175	△22,261	2,328,693
セグメント利益又 は損失(△)	310,902	271,117	582,020	△69,855	△109,799	402,365

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、セールスアウトソーシング事業等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△109,799千円は各セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない連結財務諸表提出会社の一般管理費用であります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
4. 顧客との契約から生じる収益以外の収益はありません。

2. 報告セグメントの変更等に関する情報

当第1四半期連結会計期間より、連結業績管理区分の見直しに伴い「インテリジェントオートメーション事業」に含めていた「ペイロールオートメーション事業」を「その他」の区分としてセグメント情報を開示しております。

また、報告セグメントの業績をより適切に反映させるために全社費用の配賦基準を見直し、事業セグメントの利益又は損失の算定方法の変更を行っております。

なお、前第1四半期連結会計期間のセグメント情報については、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。